

「平和の泉・平和記念像」

新宿区内の戦跡紹介

戦跡紹介および参考図書のご案内

新宿区立中央図書館平和啓発事業

平和の泉

新宿区内の戦跡紹介

新宿区内の戦跡のご紹介とそれに関する参考図書のご案内です。

●陸軍省所轄地境界石 （大久保 道路沿い）＊

戸山公園周辺の土地は陸軍戸山学校用地として買い上げられ、後年戸山ヶ原と呼ばれました。

書名	著者	出版社	掲載頁
戦争・平和・人権の歴史に会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	45

●射撃場土手跡 （大久保 戸山公園内ほか）＊

陸軍省用地となった戸山ヶ原実弾射撃場にあった土手の一部です。

流れ弾を防ぐために設けられました。

書名	著者	出版社	掲載頁
新宿の散歩道	芳賀善次郎	三交社	314
新宿区立戸塚第三小学校周辺の歴史 平成22年版		戸三小同窓会	23-24
地図で読む戦争の時代	今尾恵介	白水社	268-271
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	99
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	105
戦争・平和・人権の歴史に会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	46

●戸山ヶ原

大久保三丁目と百人町三・四丁目を合わせた地域を戸山ヶ原といいました。戸山ヶ原は、明治7年6月に陸軍用地となり、軍の射撃練習場や陸軍の軍人養成機関である陸軍戸山学校など、軍事関係の施設がありました。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ガイドブック 新宿区の文化財4 史跡 西部編	東京都新宿区教育委員会	新宿区教育委員会	91
ガイドブック 新宿区の文化財 史跡 (西部編) 改訂版	新宿区歴史博物館	新宿区歴史博物館	94
フォトガイド＊東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	30-31
新宿の散歩道	芳賀善次郎	三交社	311-315
新宿風景	新宿区歴史博物館	新宿区生涯学習財団	45
戦争案内	戸井昌造	晶文社	15-17

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
戸塚と落合のかけはしとなって	コミュニティ「おちあいあれこれ」		1-12
巷の目撃者	新宿区歴史博物館	新宿区教育委員会	114、64
図説＊占領下の東京	佐藤洋一	河出書房新社	38-39
記憶画 戸山ヶ原 今はむかし	濱田熙		
ガイドブック東京の戦争・平和	東京平和委員会	新日本出版会	49-51
東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	25-26, 28-29
新宿区立戸塚 第三小学校周辺の歴史 平成22年版		戸山小同窓会	23-24
思い出の中のふるさと戸塚 文集	新宿戸塚地区協議会 まちづくり分科会		31-37
旧制高校生の東京敗戦日記	井上太郎	平凡社	26
海城学園八十年史	海城学園八十年史編集委員	海城学園	37-57
よみがえる明治の東京	玉井哲雄	角川書店	184
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	104-105
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	42-47

●明治天皇射的砲術天覧所趾碑（高田馬場 諏訪神社境内：高田馬場 1-12-6）＊

諏訪通り南側（現在の都立戸山公園、早稲田大学理工学部等がある一帯）は陸軍省用地となり、終戦まで軍施設として使われました。明治天皇は明治15年11月9日に近衛射的場（戸山ヶ原射撃場）開場式に出席し、さらに同29日には見晴らしのよい高台にある諏訪神社境内より射的砲術をご覧になりました。

当時天皇が2度も訪問するというのは大変めずらしいことでした。これを記念し、昭和18年11月22日に建てられた3メートルあまりの御影石の石柱碑です。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ガイドブック 新宿区の文化財 史跡（西部編）改訂版		新宿区歴史博物館	92
新宿の散歩道	芳賀善次郎	三交社	382-383
ガイドブック葵から菊へ 20世紀の戦争遺跡から21世紀の 平和を学ぶ	葵から菊を訪ね平和を学ぶ 新宿戦争遺跡ネットワーク		43
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	99
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	46

●^{しょうちゅうひ}彰忠碑（西早稲田 子育地蔵尊内：西早稲田 2-18-28）＊

彰忠碑は、四国松山と高知の間に採掘される大変珍しい「伊予の青石」で作られた日露戦争の凱旋記念碑です。

表の字は当時の元帥陸軍大将・奥保鞏の書です。この周辺は当時、源兵衛村と呼ばれ村から7名が従軍したことを記念して作られました。関東大震災でも倒れることなく、東京空襲で戸塚地域がほとんど焼け野原になったとき、ここにある子育地蔵尊の周辺だけは奇跡的に焼け残り、お地蔵様が守ってくさったと地域の人々は感謝したそうです。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ガイドブック葵から菊へ 20世紀の戦争遺跡から 21世紀の平和を学ぶ	葵から菊を訪ね平和を学ぶ 新宿戦争遺跡ネットワーク		44

●近衛騎兵連隊之跡碑、近衛騎兵連隊宿舎・炊事場跡 ＊

（戸山 学習院大学戸山キャンパス 戸山 3-20-1 電話 03-5992-1053）

【ご注意】学校施設のため、一般の方の見学については、事前に学校へお問い合わせください。

近衛騎兵とは陸軍のなかでも天皇を守るために全国から選ばれた優秀な若い騎馬兵士のことです。今の戸山三丁目、学習院大学戸山キャンパスの中には石碑が建てられ、今でも宿舎は研究室として、炊事場は教室として使っています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
東京の戦前 昔恋しい散歩地図	アイランズ	草思社	67
フォトガイド東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	30
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	104
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	47

●軍楽隊野外音楽堂跡（戸山 都立戸山公園内）＊

陸軍戸山学校では軍楽教育が行われ、ここで組織された軍楽隊を陸軍戸山学校軍楽隊と称しました。箱根山の入口にすり鉢型に音楽堂跡が残っています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
新宿の散歩道	芳賀善次郎	三交社	332-333
山猫通信	国松春紀		2-3
新宿学	戸沼幸市	紀伊國屋書店	90
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	97
明治の陸軍軍楽隊員たち	須藤元夫	陸軍軍楽隊の記録刊行会	2-55
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	43-44

●陸軍戸山学校址碑 （戸山 都立戸山公園内）＊

明治時代、新宿区内には軍人養成を目的とした陸軍関係の諸学校がありました。明治6年に兵学寮戸山出張所（翌年に陸軍戸山学校と改称）が設置され、軍事教育や研究が行われました。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
帝都と軍隊	上山和雄	日本経済評論社	372
新宿区文化財 付史跡めぐりコース案内		東京都新宿区 教育委員会	13
新宿の散歩道	芳賀善次郎	三交社	331-332
山猫通信	国松春紀		2-3
陸上競技百年 改訂新版	織田幹雄	時事通信社	19-23
新宿風景	新宿区歴史博物館	新宿区生涯学習団	18
ガイドブック葵から菊へ	葵から菊を訪ね平和を学ぶ新宿 戦争遺跡ネットワーク		34-37
新宿学	戸沼幸市	紀伊國屋書店	43,90
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	97
フォトガイド東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	30-31
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	104
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園 散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	43

●将校会議室跡 （戸山 都立戸山公園脇）＊

陸軍戸山学校の将校が会議を行った場所です。現在私立戸山幼稚園の園舎として利用されています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	98
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園 散歩	東京都歴史教育者 協議会	大月書店	44

●臨時東京第一陸軍病院（戸山 現 国立国際医療研究センター 戸山 1-21-1 電話 03-3202-7181）

【ご注意】病院・研究所敷地内のため、一般の方の見学については事前に病院・研究所にお問い合わせください。

第一衛戍病院は昭和11年に三宅坂上（千代田区）から戸山学校の東に移転され、臨時東京第一陸軍病院と改称されました。戦後に厚生省へ移管されて国立第一病院となり建物はそのまま使用されました。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	100
1960年代の東京－路面電車が走る水の 都の記憶	池田信	毎日新聞社	153

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	104
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園 散歩	東京都歴史教育者 協議会	大月書店	44-45

●納骨施設（戸山 国立感染症研究所内 戸山 1-23-1 電話 03-5285-1111）＊

【ご注意】研究所敷地内のため、一般の方の見学については、事前に研究所にお問い合わせください。

平成元年 7 月、国立感染症研究所の建設工事中に、土中から少なくとも 62 体の人骨が発見され、その供養のために石碑が建てられました。この一帯には、敗戦まで陸軍軍医学校があり、鑑定の結果、陸軍軍医学校の標本などに由来する人々のものである可能性が高いと判断されました。その後、厚生労働省ではこれらの遺骨を保管することとし、平成 14 年 3 月に納骨保管施設が完成しました。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ガイドブック葵から菊へ 20世紀の戦争遺跡から21世紀の平和を 学ぶ	葵から菊を訪ね平和を学ぶ新宿 戦争遺跡ネットワーク		29-32
フォトガイド＊東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	32
東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	28-29
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	104
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園 散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	45

●陸軍士官学校・陸軍幼年学校への全寮制予備校

（原町 成城中学校・高等学校：原町 3-87 電話 03-3341-6141）

【ご注意】学校施設のため、一般の方の見学については、事前に学校へお問い合わせください。

戦前の成城中学校・高等学校は、陸軍士官学校・幼年学校への予備教育を施していました。校長には参謀次長時代の川上操六や内務大臣時代の児玉源太郎といった軍人が名前を連ねています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	94,101
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	111
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園 散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	47

●陸軍省(軍務局・兵務局・整備局・人事局・経理局)・参謀本部・教育総監部

(市谷 現 防衛省陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地 市谷本村町 5-1 電話 03-3268-3111 内線 21904)

昭和 12 年に陸軍士官学校として建設され、日米開戦と同じ昭和 16 年 12 月に陸軍省と参謀本部が三宅坂(千代田区)から移転しました。

敗戦後は占領軍に接收され、昭和 21 年から 2 年間、一号館に隣接する講堂が極東国際軍事裁判所として使用され、現在は移設・復元され市ヶ谷記念館となっています。

(記念館などの見学は市ヶ谷台ツアーへの事前申込が必要です。防衛省大臣官房広報課記念館係

(参考 URL)「防衛省・自衛隊ホームページ内、市ヶ谷地区見学(市ヶ谷台ツアー)の御案内」,

<<https://www.mod.go.jp/j/publication/ichigaya/index.html>>2026 年 6 月 6 日アクセス

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
写真と地図でめぐる軍都・東京	竹内正浩	NHK 出版	102-108
図説＊占領下の東京	佐藤洋一	河出書房新社	39
よみがえる明治の東京	玉井哲雄	角川書店	182-184
フォトガイド東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	29,166,172
東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	21,143-144,152-153
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	135

●中井御霊神社々殿・拝殿(中井 中井御霊神社々殿：中井 2-29-16)＊

拝殿 明治 37、8 年頃日露戦争の戦勝記念として建てられたと伝えられています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ガイドブック 新宿区の文化財 7 建築	東京都新宿区教育委員会	新宿区教育委員会	30

●いのりの碑

(馬場下町 早稲田中学校・高等学校内 【ご注意】学校施設内のため一般の方は見学できません)＊

昭和 17 年 4 月 18 日の東京初空襲は早稲田地域を襲いました。早稲田中学校校庭には約 600 人の生徒がいましたが、焼夷弾の直撃を受けた一人の生徒が犠牲になりました。同月 21 日に早稲田中学講堂で報国団葬にされ、翌年、犠牲を悼んで碑が建てられました。終戦直後に戦意高揚に利用されたとして取り外されましたが、昭和 58 年に当時の旧友たちが中心になり、その生徒を偲ぶ「いのりの碑」が再び早稲田中学校に建てられました。以来、毎年 4 月 18 日になると、在校生たちによって献花が行われるようになりました。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
ドーリットル空襲秘録 日米全調査	柴田武彦 原勝洋	アリアドネ企画	46-53
東京大空襲の全記録	石川陽光	岩波書店	11
ガイドブック葵から菊へ 20世紀の戦争遺跡から21世紀の平和を学ぶ	葵から菊を訪ね平和を学ぶ新宿 戦争遺跡ネットワーク		26-27
語りつぐ平和への願い	新宿区	新宿区	35
ガイドブック 新宿区の文化財3 史跡 東部編	東京都新宿区教育委員会	東京都新宿区教育委員会	107
ガイドブック新宿区の文化財 史跡 東部編 改訂版	新宿歴史博物館	新宿区立新宿歴史博物館	109-110
新宿区立戸塚 第三小学校周辺の歴史 平成12年改訂版		戸三小同窓会	30
新宿区立戸塚 第三小学校周辺の歴史 平成22年版		戸三小同窓会	37-39
戦災の跡をたずねて 東京を歩く	長崎誠三	アグネ技術センター	47
新宿学	戸沼幸市	紀伊國屋書店	250
私の戦争体験記		新宿区総務部	18, 33
ドーリットル日本初空襲	吉田一彦	三省堂	134
東京都戦災誌	東京都	明元社	157, 263
大空の覇者ドーリットル上	加藤寛一郎	講談社	286
ドキュメント東京大空襲 再版		雄鷄社	40
読んでびっくり朝日新聞の太平洋戦争記事	安田将三 石橋幸太郎	リヨン社	28, 86
東京大空襲・戦災誌 第2巻	東京大空襲を記録する会	東京大空襲を記録する会	12, 31-33
ハロランの東京大空襲	早乙女勝元	新日本出版社	22
帝都と軍隊	上山和雄	日本経済評論社	54
日本大空襲		新人物往来社	32
東京の戦争	吉村昭	筑摩書房	9
新宿 女たちの十字路	新宿区 新宿区地域女性史編纂委員会	ドメス出版	341
背中の勲章	吉村昭	新潮社	
新宿の1世紀アーカイブス	佐藤嘉尚	生活情報センター	82-83
本土空襲	島村喬	図書出版	42-56
図説 東京大空襲	早乙女勝元	河出書房新社	6-10

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
下戸塚ー我が町の詩ー		下戸塚研究会	236-237,254
戦争と共に歩んだ青春	中稲会	中稲会事務局	71-72
表参道が燃えた日 続		「表参道が燃えた日」 編集委員会	197

●早稲田大学 戸塚球場（西早稲田 跡地 早稲田大学総合学術情報センター：西早稲田 1-20）

【ご注意】学校施設のため、一般の方の見学については、事前に学校へお問い合わせください。

第二次世界大戦中、東条英機内閣により「在学徴集延期臨時特例」が決定され、早稲田大学では約 6 千人の学徒が出陣することになりました。昭和 18 年 10 月 15 日、早稲田大学 戸塚球場（後の安部球場）で大学主催の出陣学徒壮行会が举行されました。

翌日、同球場にて「最後の早慶戦」と呼ばれる早稲田大学 対 慶応義塾大学の非公式戦の野球試合が開催されました。そして、その 5 日後、明治神宮外苑陸上競技場で学徒出陣壮行大会が行われ、野球部員たちも出征していきました。

現在、跡地には早稲田大学総合学術情報センターが建っており、球場はありませんが、ここが球場であったことがわかるように、初代野球部監督「安部磯雄」氏と「最後の早慶戦」実現に奔走した初代野球コーチ「飛田穂洲」氏の銅像があります。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
早慶戦百年激闘と熱狂の記憶	富永俊治	講談社	155
1943 年晩秋最後の早慶戦	早稲田大学大学史資料センター	教育評論社	
最後の早慶戦	笠原和夫	ベースボール マガジン社	
早慶戦110年史		ベースボール・ マガジン社	40-44
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	74,81

●出陣学徒壮行の地碑（霞ヶ丘 現 新国立競技場 霞ヶ丘町 10）＊

昭和 18 年 10 月 21 日、文部省と学校報告団本部が主催し、明治神宮外苑陸上競技場を会場にして「学徒出陣壮行大会」が開催されました。東京周辺 77 校の学徒 2 万数千人が、東條首相の閲兵を受けるため行進しました。

記念碑は、現在、新国立競技場の敷地内に建っています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
フォトガイド東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	78
東京が戦場になった日	中沢昭	近代消防社	65-67
東京の戦争と平和を歩く	東京都歴史教育者協議会	平和文化	71-72
戦争・平和・人権の歴史に出会う東京公園散歩	東京都歴史教育者協議会	大月書店	59

●袋町のイチョウ（袋町 袋町 6）＊

樹齢 250 年以上のイチョウの木です。戦時中、焼け野原となった街にこのイチョウが焼け残り、それを目標に被災した人々が戻ってきたといわれています。幹には戦災の時の傷（裂け目）が残り、そこからトウネズミモチやケヤキが生え、生命力を感じさせます。イチョウの木は水分を多く含むため、焼失せず残った木が今も数多く区内に存在しています。新宿区保護樹木

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
語り継ぐ焼けイチョウ	唐沢孝一	北斗出版	138-139
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	136

●幸國寺の大イチョウ（原町 原町 2-20）＊「新宿区平和マップ」内容に加筆

境内には、樹齢 500 年以上といわれる新宿区最大のイチョウの木が東西に 2 本あります。昭和 20 年 5 月の空襲で西側の木は戦火から近隣の民家を守ったため傷みが激しく、平成 10 年には突然緑の葉を落とし始め異常な事態になりましたが、地域の方々が善意で「大銀杏延命施術浄財勧募」を展開し専門家に治療され危険な状態は回避することができました。現在も力強く生き続けています。

新宿区指定天然記念物、新宿区保護樹木

（参考 URL）「日蓮宗 正定山 幸國寺ホームページ内、幸國寺大銀杏」，

<<http://www.koukokuji.or.jp/about.html>>2026 年 6 月 6 日アクセス

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
語り継ぐ焼けイチョウ	唐沢孝一	北斗出版	136-138
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	26-27、136

●**鎧神社のイチョウ**（北新宿 北新宿 3-16-18）＊

昭和 20 年の戦災に遭ったイチョウの木です。拝殿は焼失しましたが、このイチョウの木は焼け残りしました。黒い部分はウレタンで保護されています。新宿区保護樹木

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
語り継ぐ焼けイチョウ	唐沢孝一	北斗出版	143-146
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	136

●**稲荷鬼王神社のスダジイ**（歌舞伎町 歌舞伎町 2-17-5）＊

昭和 20 年の戦災で焼け残ったスダジイの木です。境内には焼夷弾により崩れた石碑もあります。スダジイとはブナ科の常緑広葉樹のことです。新宿区保護樹木

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	136

●**浅沼組本社跡前のイチョウ**（荒木町 荒木町 5）

昭和 20 年の戦災に遭ったイチョウの木です。浅沼組本社は 2015 年に港区へ移転し、その跡地に『ジオ四谷荒木町』という大きなマンションが建って現在も敷地内で大切に保護されています。新宿区保護樹木

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
語り継ぐ焼けイチョウ	唐沢孝一	北斗出版	134-136
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	135

●**穴八幡宮のイチョウ**（西早稲田 西早稲田 2-1-11）

昭和 20 年の戦災に遭ったイチョウの木です。穴八幡児童公園のフェンスに沿って何本かあるイチョウの中の一本の幹が焼けています。戦災によって社殿はことごとく羅災し、平成になってようやく復元されました。本殿右側のサンゴジュも幹の大半が黒焦げに焦げています。

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
語り継ぐ焼けイチョウ	唐沢孝一	北斗出版	140-141
よみがえった黒こげのイチョウ	唐沢孝一	大日本図書	135-136

●**聖母病院**（中落合 中落合 2-5-1）

カトリックの病院である聖母病院ですが、昭和 20 年 4 月 13 日の夜に B29 による爆撃を受けました。病院の前庭や屋上にも焼夷弾が落ちましたが、その時残っていた神父をはじめとする 2、3 人の男性と看護婦やシスター達だけで懸命の消火をしました。周囲は火の海で、大きな火の粉が空高く舞い上がって病院の構内に降り注いできました。病院の建物へ炎が燃え移らないようにと皆で番をし、一夜が明けて無事に残った病院を眺めると煙と水に汚れた塔がそびえていたそうです。

終戦後、聖母病院に外国人の抑留者がいたため、米軍の飛行機から救援物資の投下がありました。ただ、残念なことに、この食料投下はパラシュートを付けたドラム缶だったこともあり、直撃して亡くなった人が3名いたのです。

平成15年（2003）新病棟の改築に伴い、本館の外観が当初に復元されました。東京都選定歴史的建造物

書名	著者・編者	出版社	掲載頁
米軍が見た東京1945秋	佐藤洋一	洋泉社	210-211 216-217
落合新聞(コピー) 創刊号～50号 (終刊)	竹田助雄	竹田助雄	第48号2 第49号2
空から見る戦後の東京	竹内正浩	実業之日本社	51
新宿おちあい 三版(改訂)一歩く、見る、知る一	「新宿おちあい 歩く、見る、知る」 編集委員会	新宿区落合第一 特別出張所	26-29
聖母病院50年のあゆみ	聖母病院50年史編集委員会	社会福祉法人聖母会 聖母病院	8、22-27

注1 「*」の内容は『新宿区平和マップ』（新宿区総務部総務課 発行 平成29年2月 第3版）を参考にしました。

注2 掲載頁に数字のない資料は、資料の全体が関連しています。

